

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始いたしますので、ご案内申し上げます。
謹 白

記

- 受託開始日 2009年3月2日(月)受付分より
- 新規受託項目

検査項目	検体量	保存	所要日数	実施料	検査方法	基準値(単位:mU/dL)
TRACP-5b定量 (項目コード:4870)	血清 0.3mL	冷蔵	3~9日	160点 (生Ⅱ)	EIA	・男性 170~590 ・閉経前女性 120~440 ・閉経前女性(30~44歳) 120~420 ・閉経後女性 250~760

代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助並びに治療経過観察時の補助的指標として有用。

酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ-5b (Tartrate-resistant Acid Phosphatase 5b) は、骨の代謝(骨吸収)に直接関係し、骨吸収によってできる骨の分解産物とともに血中に放出されるため、骨吸収の亢進に伴い血中のTRACP-5bも増加します。ヒトでは、骨(破骨細胞)のみに由来するため、骨吸収の状態を正確に反映すると言われております。なお、血中には、マクロファージなどに由来する酸性フォスファターゼ(TRACP-5a等)も存在しますが、破骨細胞に由来するTRACP-5bだけを測定します。

従来の骨吸収マーカーとの比較

1. 生物学的変動は小さく、骨代謝の小さな変化を鋭敏に捉えることができると考えられる。
2. 血中TRACP-5bの日内変動は小さいため、検体採取のタイミングに関する制限が少ない。
3. 血中TRACP-5bは食事の有無により影響を受けないことから、空腹時採血の必要がない。
4. 血中TRACP-5bは、従来のコラーゲン代謝物の骨吸収マーカーのように、腎機能低下の影響は認められないため、腎機能低下症例や透析症例においても有用と思われる。

<保険適用の内容>

- ア TRACP-5b定量は区分番号「D008」内分泌学的検査の「12」のI型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)精密測定に準じて算定する。
- イ TRACP-5b定量は、代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助並びに治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に6月以内に1回限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できる。NTx精密、オステオカルシン精密、DPD精密と併せて実施した場合いずれか一つのみ算定する。なお、乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために当該検査を行い、当該検査に基づいて計画的な治療管理を行った場合は、区分番号「B001」特定疾患治療管理料の「3」悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」を算定する。